講義および演習環境の事前確認

| 注意事項 | 1 |
|---|-----|
| 作業 1 : Zoom 会議への接続テスト | |
| | |
| 作業 2: Microsoft アカウントの作成 | |
| 作業 3 : Azure portal への接続テスト | |
| 作業 4: Windows 仮想マシンへのリモート デスクトップ (RDP) 接続テスト | 9 |
| 作業 5: Azure Lab Services へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト | .11 |

注意事項

- この手順は、必ず トレーニング コース 受講当日に使用する PC および 場所(ネットワーク)で行ってください。
 - ▶ 画面や操作手順は、予告なく変更になる場合があります。
- 演習用 PC は、Windows 11 をご使用ください。
- 会社ネットワークや会社支給デバイスをご利用の場合、会社のセキュリティポリシーにより、通信ポートや テスト アカウントによる特定サイトへのアクセスが制限され、ハンズオン演習が実施できない場合があります。
 - ▶ この事前確認作業が失敗する場合は、ご自宅のネットワークや個人デバイスなど、 制限のない環境でのご受講をご検討ください。
- RDP 接続テストは、メンテナンス時間(AM 1:00-5:00)の間は実施できません。
- 演習用 Web ブラウザーは、Microsoft Edge または Google Chrome を使用ください。
 - ▶ 指定されたアカウントで確実にサインインするために、Microsoft Edge の「InPrivate モード」や Google Chrome の「シークレット ウィンドウ」をご利用ください。

- ハンズオン演習用 PC とは別に、2 台目のデバイス をご用意いただくと、より快適に受講できます。
 - ▶ 例) 2 台目のモニター、PC、タブレット端末など
 - ▶ すべての受講用デバイスは、Zoomに接続することをおすすめします。
- Microsoft 社のポリシーにより、演習環境でも多要素認証(MFA)が必要となります。
 - ▶ 演習中に「Microsoft Authenticator アプリ」を使用する場面がありますので、 事前にスマートフォンへのインストールをお願いいたします。
 - https://jinzai.edifist.co.jp/download/textbook/authenticator/MFA-App-Config.pdf

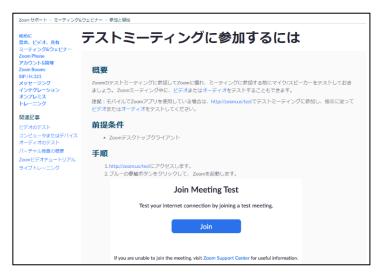
作業 1: Zoom 会議への接続テスト

このコースは、Zoom 会議を使用します。 Zoom 会議への接続を確認します。

- 1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します。
- 2. 「Zoom の テスト サイト」にアクセスします。

https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083/

3. Zoom ミーティングに参加するテストの「手順」が表示されます。



⇒ 指示に従ってテストを行います。

作業 2: Microsoft アカウントの作成

ゲスト ユーザー招待などの演習で、Microsoft アカウントを使用します。まだ お持ちでない場合は、Microsoft アカウントを作成してください(コース終了後、不要であれば削除していただいて構いません)。

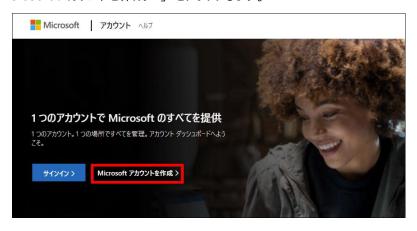
ワンポイント

すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合は、そのユーザー名とパスワードを確認しておいてください。 Microsoft アカウントは、コース初日に使用します。

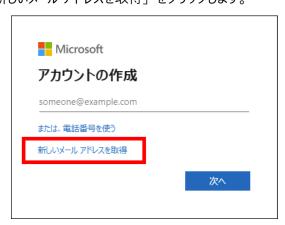
- 1. Web ブラウザーを起動します。
- 2. 「Microsoft アカウント サイト」にアクセスします。

https://account.microsoft.com/

3. [Microsoft アカウントを作成 >] をクリックします。



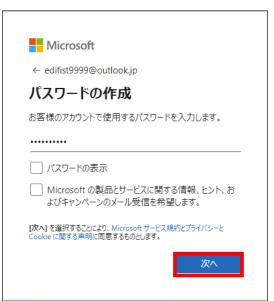
4. 「新しいメール アドレスを取得〕 をクリックします。



5. ご希望のメール アドレス (@ より前)を入力し、ご希望のドメイン名 (@ より後ろ)を一覧から選択し、 [次へ] をクリックします。



6. 設定したいパスワードを入力し、 [次へ] をクリックします。



ワンポイント

Microsoft アカウントのユーザー名とパスワードは、コース初日に使用します。 忘れずにメモしておいてください。 7. ロボットではないことを証明するために、クイズに解答します。



- 8. 「サインイン状態を維持しますか?」と表示されたら、[いいえ]をクリックします。
- 9. 「パスワードを保存しますか?」と表示されたら、[今は実行しない]をクリックします。
- 10. Microsoft アカウントのページが表示されます。



⇒ Microsoft アカウントが作成されました!

11. サインアウトして、Web ブラウザーを閉じます。

作業 3: Azure portal への接続テスト

Azure portal に、テスト アカウントで接続できることを確認します。

ワンポイント

会社ネットワークや会社支給デバイスをご利用の場合、会社のセキュリティポリシーにより、テスト アカウントを使用する特定サイトへのアクセスが制限され、ハンズオン演習が実施できない場合があります。

この事前確認作業が失敗する場合は、ご自宅のネットワークや個人デバイスなど、**制限のない環境** でのご受講をご検討ください。また、Microsoft Edge の「InPrivate モード」や Google Chrome の「シークレットウィンドウ」を使用して、Azure portal にアクセスしてみてください。

- 1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します。
- 2. Azure portal にアクセスします。

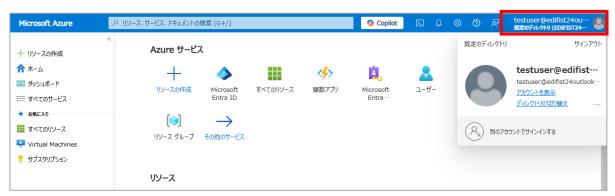
https://portal.azure.com

ワンポイント

Web ブラウザーにキャッシュされているアカウントで自動的にサインインされた場合は、一度 サインアウトします。

- 3. 次のテストアカウントで、サインインします。
 - ・ ユーザー名: testuser@edifist24outlook.onmicrosoft.com
 - ・ パスワード: Online12345
- 4. 「サインイン状態を維持しますか?」と表示されたら、「いいえ」をクリックします。
- 5. 「パスワードを保存しますか?」と表示されたら、[今は実行しない] をクリックします。

- 6. Azure portal が表示されます。
- 7. 画面右上のユーザー名をクリックし、テストアカウントでサインインできたことを確認します。



- \Rightarrow テスト アカウントで Azure portal に接続できました!
- 8. Azure portal からサインアウトし、Web ブラウザーを閉じます。

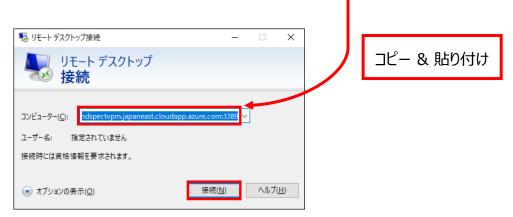
作業 4: Windows 仮想マシンへのリモート デスクトップ (RDP) 接続テスト

オンプレミス Active Directory とのディレクトリ同期など、一部の演習で Azure の Windows 仮想マシンを使用します。 そのため、必ず RDP 接続のテストを行ってください。

ワンポイント

会社ネットワークや会社支給デバイスをご利用の場合、会社のセキュリティポリシーにより、通信ポート(RDP の TCP 3389 ポート)が制限され、RDP 接続ができない場合があります。この接続テストが失敗する場合は、ご自宅のネットワークや個人デバイスなど、**制限のない環境**でのご受講をご検討ください。

- 1. トレーニング コース受講当日に使用する、PC およびネットワークを使用します。
- 2. Windows 画面左下にある Windows マーク (***) を右クリックし、 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 「mstsc」と入力し、 [OK] をクリックします。
 ⇒ [リモート デスクトップ] が起動します。
- 4. [コンピューター名]に、「w1r1indspectvpm.japaneast.cloudapp.azure.com:3389」と入力し、 [接続]をクリックします。



5. [資格情報を入力してください] 画面が表示されることを確認します。 ここでの、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。



- ⇒ テスト アカウントで Windows 仮想マシンにリモート デスクトップ (RDP) 接続できました!
- 6. [キャンセル] をクリックし、[リモート デスクトップ] 画面を閉じます。

作業 5: Azure Lab Services へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト

演習で使用する、Azure Lab Services サイトと Lab 仮想マシンへの接続を確認します。

- 1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します
- 2. [Azure Lab Services]にアクセスします。

https://labs.azure.com

- 3. Azure Lab Services ページが表示されます。
- 4. 画面中央の [サインイン] をクリックします。

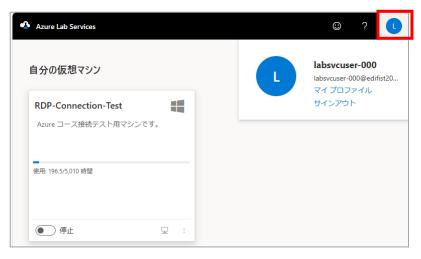


- 5. 次のテストアカウントで、サインインします。
 - ・ ユーザー名: labsvcuser-000@edifist20outlook.onmicrosoft.com
 - ・ パスワード: Pa\$\$w0rd1234%





- 6. Azure Lab Services の画面が開きます。
- 7. 画面右上のアイコンをクリックし、テストアカウントでサインインできたことを確認します。



- ⇒ テスト アカウントで Azure Lab Services に接続できました!
- 8. [自分の仮想マシン] が「停止」 している場合は、仮想マシンを開始するため、 [停止] スイッチ ボタンをクリックします。



 \Rightarrow スイッチ ボタンの表示が、「停止」 \rightarrow 「開始しています」 \rightarrow 「実行中」 に変わります(この処理には、3 \sim 4 分かかります)。

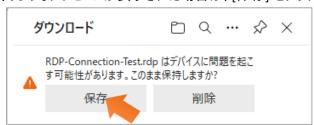
9. スイッチ ボタン [実行中] の右隣にある PC アイコンをクリックします

(PC アイコンにカーソルを合わせると、[仮想マシンに接続する] と表示されます)。

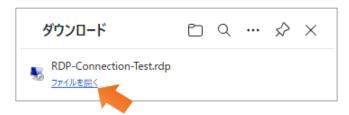


⇒「RDP-Connection-Test.rdp」という名前のファイルがダウンロードされます。

次のようなメッセージが表示された場合は、[保存]をクリックします。



10. ダウンロードされた RDP ファイルを開きます。



⇒ [リモート デスクトップ接続] の [このリモート接続の発行元を識別できません。接続しますか?] と表示されます。

11. [接続] をクリックします。



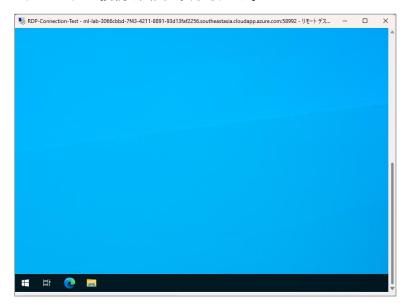
- ⇒ [資格情報を入力してください] が表示されます。
- 12. Lab 仮想マシンに、以下のテスト用アカウントでサインインします。
 - ・ ユーザー名: student
 - ・ パスワード: Pa55w.rd2005!



- ⇒ [このリモート コンピューターの ID を識別できません。接続しますか?] と表示されます。
- 13. [はい] をクリックします。



14. リモート デスクトップ接続の画面が表示されます。



⇒ テスト アカウントで Lab 仮想マシンに RDP 接続できました!

- 15. 画面右上の [x] をクリックし、リモート デスクトップ接続ウィンドウを閉じます。
- 16. 「リモート セッションは切断されます」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

ここで、Azure Lab Services の画面に戻ります。

17. 仮想マシンを停止するため、[自分の仮想マシン]の [実行中] ボタンをクリックします。



18. 仮想マシンが「停止しています...」という状態になったことを確認します。



19. Azure Lab Services からサインアウトし、Web ブラウザーを閉じます (仮想マシンが完全に停止していなくても大丈夫です)。

"事前確認"は、これで終了です。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。